

東水だより

発行 千葉県水道局0472(23)4500
元280 千葉市長洲 |—9—|

給水人口 2,186,830人 昭和57年3月31日現在
一日最大給水量 796.208m³ 昭和57年8月22日



県水道局の家計簿

昭和五十六年度 決算のあらまし

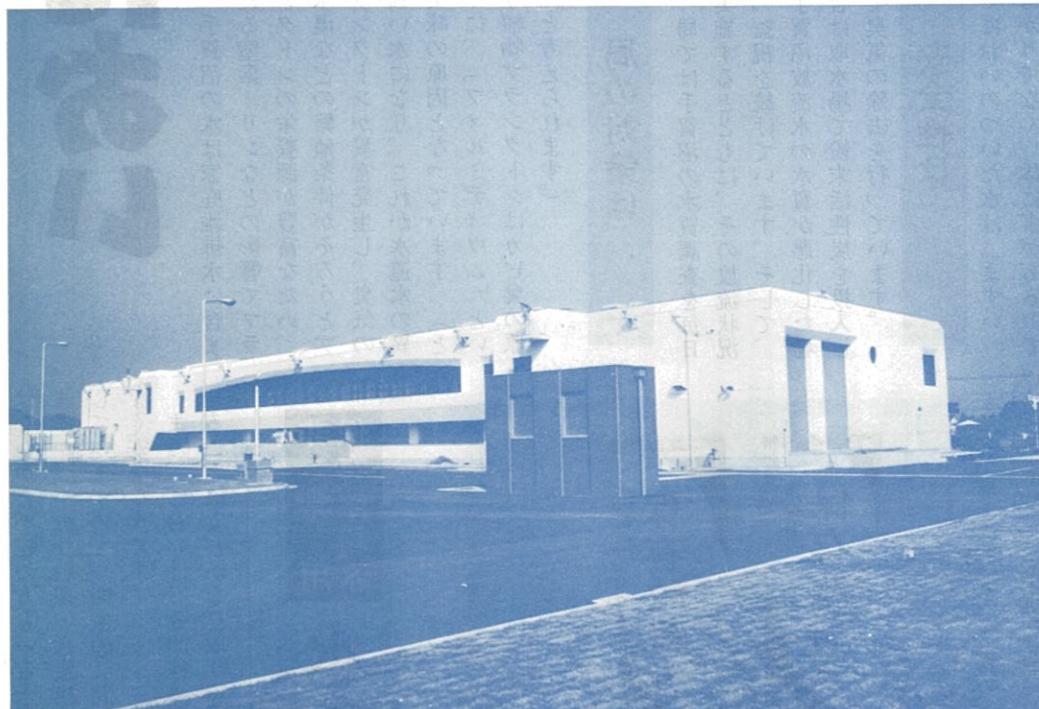
県水道局では、このほど昭和五十六年度の決算をとりまとめましたのでそのあらましをご紹介しましょう。

水道事業のしくみ

まず、水需要にみあつた施設や設備が必要ですが、その建設や改良の費用は国などからの借入金（企業債）で調達します。この借入金

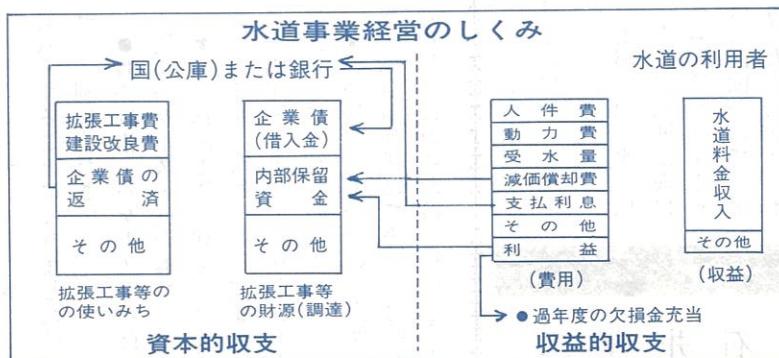
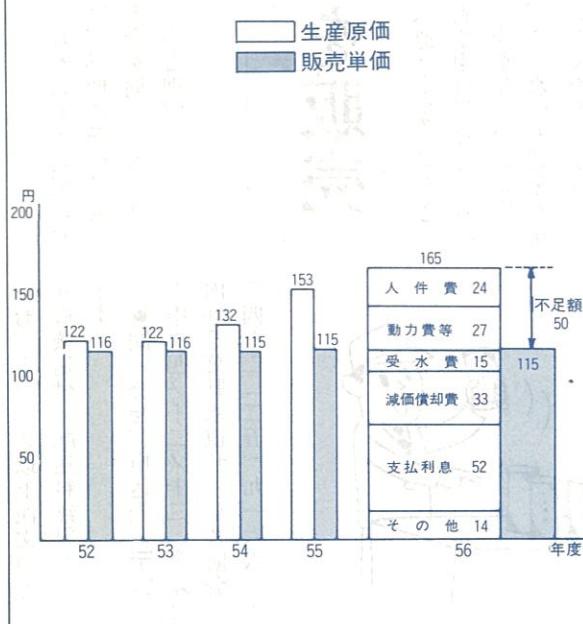
水道事業は独立採算制で運営され
て、ほとんど水道料金でまかなわれて
います。

入金は長期にわたり利子をつけて返済していかなければなりません。



沼南給水場—昭和56年7月から稼動しています。

水1m³当たりの生産原価と販売単価



給水狀況

財政の状況

収支項目別では、前年度と比べ水道料金収入が7%増え、収益も全体で三・八%の伸びをみましたが、反面、受水費（北千葉広域水道企業団などから買う浄水の費用）十四・六%、薬品費二十八・七%減価償却費二十八・九%など費用の増加も著しく、費用全体では十四・三%も増加しています。なお、費用のうち支払利息が全体の約1/3を占めていますが、これ

立方メートルをつくるのにいくと
かかつたでしょうか。前年度と比
べ十二円増え百六十五円かかりま
した。一方、水を売る値段は一立
方メートル当りに換算すると百十
五円になり、差し引き五十円の不
足が生じています。

| | 50 | 100 | 150 | 200 | 250 | 300 | 350 | (億) |
|------------------|-----------------------|----------------------|---------------------|----------------|------------------------|--------------|------------------|----------|
| 収益的収支 | | | | | | | | |
| 収入 | | | | | | | | |
| 水道料金など 25,204 | | | | | 給水申込 納付金など 3,943 | | 欠損金 5,901 | (単位 百万円) |
| 支出 | 人件費 4,870 | 動力費など 5,503 | 受水費 4,651 | 減価償却費 6,682 | 支払利息 10,449 | その他 2,893 | | |
| 資本的収支 | | | | | | | | |
| 収入 | | | | | | | | |
| 企業債 14,975 | | 工事負担金 など 7,121 | | 不足額 16.55 | | | 国庫補助金 (1,211) | |
| 支出 | | | | | | | その他 (303) | |
| | 拡張工事費・建設改良費 21,455 | | 企業債 償還金 3,706 | | | | その他 (104) | |

安定給水のためには

このように、県水道局の台所は
たいへん苦しい状況にあります

建設事業では、拡張事業を抑制したことにより、総額では、前年度より約九億円少ない二百十五億円になりましたが、収支全体では、七億円の不足が生じたため、内帑留保資金（減価償却費等）などと補てんしました。

（略）の統合を実現し、現有施設の
一体的な運用をめざすことにした
ほか、二月には、局の人員費抑制
とサービス内容の充実を図るため、
検針などを行ふ（助千葉県水道サ
ービス協会を設立しました。

水源の確保などに積極的に取り組んでいます。

最後になりましたが、このよう
に安定給水に全力をあげております
が、昭和五十一年四月から六年
余り現在の料金を維持しています。
ので、浄水コストの上昇により更
に今後大幅な赤字となることが予
想されています。今後、以前にも
増した企業努力によつて皆さんが
いつでも安心して水が使えるよう
努めてまいりますので、引き続き
県営水道に対するご理解とご協力
をお願いいたします。

事業の効率化

よりいっそ効率的な事業運営を図ることによつて安定給水の確保に努めていかなければなりません。

「市井」と「水土」

房総の水②

県営水道は水の九割を利根川水系（利根川・江戸川・印旛沼）にある四ヶ所の取水場から取り入れています。このうち利根川・木下取水場の上流一・五キロメートルのところに手賀沼排水機場があり、ここからは手賀沼の水が利根川に放流されていますので、沼の水は川を下つて取水場から浄水場へ取り入れられています。

「市井人」「市井の民」「市井の徒」という語句がある。昨今、のヤングやチビッコに「井戸」といっても意味が通せず、「ワカンナイ」という答えが返ってくる。

「井」とは井戸のことで、もともと水の集まる所の意味に解されていて、古くは川でも、湧き水でも、水をセキ止めたりでも、ヒトがミズを汲む所を「井」と称したが、後世ではもっぱら堀井戸を指すようになつた。

ヒトの肉体は六〇%以上が水分であり、ヒトは毎日三㍑以上の飲み水を必要とされ、ために太古からヒトはミズを求めて分布し、河川や湖沼や湧き水などの自然に得られる水源の周辺に住居を構え集落を作り、市（いち）とか、街（ま）

やはり人間自身が水に親しみ、土

が必要がある。

「市井人」「市井の民」「市井の徒」という語句がある。昨今、のヤングやチビッコに「井戸」といっても意味が通せず、「ワカンナ

い」という答えが返つてくる。

「井」とは井戸のことで、もともと水の集まる所の意味に解され

ていて、古くは川でも、湧き水でも、水をセキ止めたりでも、ヒト

がミズを汲む所を「井」と称した

が、後世ではもっぱら堀井戸を指すようになつた。

ヒトの肉体は六〇%以上が水分

であり、ヒトは毎日三㍑以上の飲み水を必要とされ、ために太古からヒ

トはミズを求めて分布し、河川や

湖沼や湧き水などの自然に得られ

る水源の周辺に住居を構え集落を形成してきた。そこが「市井」

郷土研究家

石井暉二

最近、湖沼を水源とする地域で「水道水の異臭味」が全国的に問題となっています。当局でも昨年九月に「臭い水」で二十八万戸が影響を受け、今年も六月から七月このにおいの原因は何か、また局ではどんな対策を講じているのでしょうか。

手賀沼の水は家庭雑排水に含まれる窒素・リンなどの影響でプランクトンの栄養源が豊富なため、水温などの繁殖条件がそろうとプランクトンが異常発生し、臭気の臭味の原因となっています。（とくに、「フォルミディウム」という植物プランクトンはカビ臭の原因と考えられます。）

局では手賀沼の水質調査を毎日実施するとともに、その放流状況の監視を続けています。そして、手賀沼放流水の水質が悪化した場合は取水場で粉末活性炭を投入して臭気の除去を行っています。

災害時の飲料水用に保存しておける「水の缶詰」を製造いたします。このたび、この水の缶詰を家庭や職場で備えてくださるよう、ケース単位（一ケース三〇本）で予約販売することになりましたのでぜひご利用ください。

●販売価格 一ケース千六百五十円（一ケース・三十本）
●申し込み方法 官製ハガキに数量・住所・氏名・捺印、電話番号を明記のうえ、十二月末までに送付してください。

●配布場所 助千葉県水道サービス協会事務所にて来年二月頃から申込者に直接お渡しいたします。

●問い合わせ、申込先 TEL 280 千葉内助千葉県水道サービス協会 Tel 0472-251-9166 (代)

水のにおい

はないかと不安の方もいると思いませんが、十分な殺菌・水質検査をしていますので、衛生的に問題はなく安全な水です。

また、においては五分間程沸騰させることによりかなり取り除くことになります。

局では、これからも手賀沼の水を直接送付（配送料無料）いたします。

●問い合わせ、申込先 TEL 280 千葉内助千葉県水道サービス協会 Tel 0472-251-9166 (代)

●問い合わせ、申込先 TEL 280 千葉内助千葉県水道サービス協会 Tel 0472-251-9166 (代)

なお、十ヶース以上注文の方に限り直接送付（配送料無料）いたします。

●問い合わせ、申込先 TEL 280 千葉内助千葉県水道サービス協会 Tel 0472-251-9166 (代)

●問い合わせ、申込先 TEL 280 千葉内助千葉県水道サービス協会 Tel 0472-251-9166 (代)